

宮城県監査委員告示第10号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定により実施した公営企業会計の定期監査の結果は次のとおりです。

平成17年8月26日

宮城県監査委員 菊地 浩
宮城県監査委員 藤原 範典
宮城県監査委員 阿部 徹
宮城県監査委員 谷地森 涼子

監査は、水道用水供給事業会計、工業用水道事業会計、工業用地等造成事業会計、地域整備事業会計及び病院事業会計に係る平成16年度の事業を中心として実施しましたが、その概要は次のとおりです。

監査に当たっては、地方自治法第2条第14項及び第15項の規定の趣旨に沿って行われているかについて、特に意を用いて行いました。

その結果、公表すべき指摘事項は、下記のとおりでした。

なお、軽易な事項については、関係機関に注意をしました。

記

1 企業局総務課

仙台港国際ビジネスサポートセンターのオフィスエリアにおける入居率の向上については努力が認められるものの、なお、入居率が低いことから引き続き対策を講じる必要がある。

平成16年度	入居状況	13区画中8区画入居（3団体）（H17.3.31現在）
	運用資産収益	34,121,536円（ホール等使用料を含む。）
参考：前年度	入居状況	13区画中6区画入居（5団体）（H16.3.31現在）
	運用資産収益	28,056,729円（ホール等使用料を含む。）

2 病院局県立病院課

各病院において過年度分の入院収益等未収金が認められたので、引き続き収納促進及び未収金の発生防止のための対策を講じる必要がある。

平成16年度末過年度末収金	57,204,119円（こども病院を含む病院計）
参考：前年度末過年度末収金	57,431,595円（病院計）

3 循環器・呼吸器病センター

入院収益等において、過年度の未収金が認められたので、引き続き収納促進と未収金の発生防止対策を講じる必要がある。

平成16年度末過年度末収金	11,713,963円
参考：前年度末過年度末収金	10,588,670円

4 精神医療センター

入院収益等において、過年度の未収金が認められたので、引き続き収納促進と未収金の発生防止対策を講じる必要がある。

平成16年度末過年度末収金	26,842,724円
参考：前年度末過年度末収金	33,461,154円

5 がんセンター

入院収益等において、過年度の未収金が認められたので、引き続き収納促進と未収金の発生防止対策を講じる必要がある。

平成16年度末過年度未収金 17,664,207円
 参考：前年度末過年度未収金 13,381,771円

宮城県水道用水供給事業会計

実施した監査箇所	監査年月日
企業局総務課	平成17年7月14日
企業局水道課	平成17年7月14日
大崎広域水道事務所	平成17年6月10日
仙南・仙塩広域水道事務所	平成17年6月9日

本事業は、市町村の水道事業に対し水道用水を供給するもので、その概要は、次のとおりである。

事業名	水源	計画給水量	給水能力	供給対象市町村	事業(供給)開始年度
大崎広域水道事業	漆沢ダム 南川ダム	1日最大 12万立方 メートル	1日最大 10万 1,150立方 メートル	古川市，加美町，松山町 三本木町，鹿島台町，涌谷町 田尻町，小牛田町，南郷町 高清水町，瀬峰町，大和町 大郷町，富谷町，松島町 大衡村 (16市町村)	昭和55年度
仙南・仙塩広域 水道事業	七ヶ宿ダム	1日最大 55万 3,300立方 メートル	1日最大 27万 9,000立方 メートル	仙台市，塩竈市，白石市 名取市，角田市，多賀城市 岩沼市，蔵王町，大河原町 村田町，柴田町，亘理町 山元町，松島町，七ヶ浜町 利府町，富谷町 (17市町)	平成2年度

平成16年度における事業実績は、次のとおりである。

(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

事業名	給水量	決算額		経営状況	
		事業収益	事業費用	当年度純利益	当年度未処分利益剰余金
大崎広域 水道事業	千㎡ 23,185	千円 3,525,468	千円 2,887,133	千円 629,211	千円 629,211
仙南・仙塩広域 水道事業	74,964	13,547,758	10,540,455	2,997,210	2,997,210
計	98,149	17,073,226	13,427,588	3,626,421	3,626,421

(注) 1 金額は、千円未満を切り捨てている。

2 決算額の金額は消費税を含むが、経営状況の金額は消費税を除いた経理処理に基づく額である。

宮城県工業用水道事業会計

実施した監査箇所
 企業局総務課
 企業局水道課
 工業用水道事務所
 大崎広域水道事務所

監査年月日
 平成17年7月14日
 平成17年7月14日
 平成17年6月9日
 平成17年6月10日

本事業は、工場及び事業所に対し工業用水を供給するもので、その概要は、次のとおりである。

事業名	水源	給水能力	給水区域	事業(給水)開始年度
仙塩工業用水道事業	大倉ダム	1日最大 10万立方メートル	仙台市、塩竈市、多賀城市、七ヶ浜町 利府町、大和町、富谷町（7市町）	昭和36年度
仙台圏工業用水道事業	釜房ダム	1日最大 10万立方メートル	仙台市、名取市、多賀城市、七ヶ浜町 利府町（5市町）	昭和51年度
仙台北部工業用水道事業	漆沢ダム	1日最大 5万8,500立方メートル	古川市、加美町、三本木町、大和町 大衡村（5市町村）	昭和55年度

(注) 上記以外に、仙南地域における工業用水道の水源を確保するため「七ヶ宿ダム」(取水量1日最大5万5,900立方メートル相当)の維持管理費を負担している。

平成16年度における事業実績は、次のとおりである。

(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

事業名	給水量	決算額		経営状況	
		事業収益	事業費用	当年度純利益	当年度末処分利益剰余金 (未処理欠損金)
仙塩工業用水道事業	千 ^m 13,119	千円 756,059	千円 691,958	千円 63,901	千円 324,049
仙台圏工業用水道事業	18,485	469,840	397,906	71,531	568,426
仙台北部工業用水道事業	7,799	521,638	511,134	10,314	1,576,855
計	39,403	1,747,537	1,600,998	145,746	684,380

(注) 1 金額は、千円未満を切り捨てている。

2 決算額の金額は消費税を含むが、経営状況の金額は消費税を除いた経理処理に基づく額である。

宮城県工業用地等造成事業会計

実施した監査箇所
企業局総務課
仙台用地造成事務所

監査年月日
平成17年7月14日
平成17年6月13日

本事業は、仙台港とその背後地の用地を取得し、工業用地等の造成・分譲を行っている。
平成16年度においては、収用により 8,041.85平方メートルを処分した。

平成16年度における事業実績は、次のとおりである。

(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

事業名	決算額		経営状況	
	事業収益	事業費用	当年度純利益	当年度未処分利益剰余金
工業用地等造成事業	697,094 ^{千円}	556,178 ^{千円}	140,915 ^{千円}	859,168 ^{千円}

(注)金額は、千円未満を切り捨てており、消費税が含まれている。

宮城県地域整備事業会計

実施した監査箇所
企業局総務課

監査年月日
平成17年7月14日

本事業は、地域整備の促進と県土の均衡ある発展を目的として平成9年度に創設された事業である。
平成16年度においては、仙台港国際ビジネスサポートセンターの管理運営及び他会計に対する資金の貸付事業を行った。

平成16年度における事業実績は、次のとおりである。

(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

事業名	決算額		経営状況	
	事業収益	事業費用	当年度純損失	当年度未処理欠損金
地域整備事業	119,411 ^{千円}	267,024 ^{千円}	147,613 ^{千円}	670,229 ^{千円}

(注) 1 金額は、千円未満を切り捨てている。

2 決算額の金額は消費税を含むが、経営状況の金額は消費税を除いた経理処理に基づく額である。

宮城県病院事業会計

実施した監査箇所
 病院局 県立病院 課
 循環器・呼吸器病センター
 精神医療センター
 がんセンター

監査年月日
 平成17年7月14日
 平成17年6月13日
 平成17年6月7日
 平成17年6月7日

本事業において経営する病院は、次のとおりである。

病院名	病床数	診療科目	開始年月日
循環器・呼吸器病センター	200床（一般病床 150床） （結核病床 50床）	呼吸器科，消化器科，循環器科，呼吸器外科，心臓血管外科，放射線科，麻酔科 （7科）	昭和27年12月15日
精神医療センター	354床（精神病床）	精神科，神経科，歯科（3科）	昭和32年4月12日
がんセンター	383床（一般病床。うち緩和ケア病床 25床）	内科，呼吸器科，消化器科，外科，整形外科，脳神経外科，泌尿器科，婦人科，眼科，耳鼻いんこう科，放射線科，麻酔科 （12科）	平成5年4月1日 （昭和42年4月1日 成人病センター）
こども病院	124床（一般病床）	新生児科，総合診療科，血液腫瘍科， <u>内分泌科</u> ，神経科，外科，脳神経外科， <u>整形外科</u> ，形成外科，泌尿器科，産科，眼科， <u>耳鼻咽喉科</u> ，歯科口腔外科，児童精神科，リハビリテーション科，放射線科，麻酔集中治療科 （18科）	平成15年11月11日

（注） こども病院の病床数は、平成15年度と比べ36床の増床となっている。また、診療科目は下線部の3科が新設されている。

平成16年度における事業実績は、次のとおりである。

（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）

病院名	入院患者数 （延）	外来患者数 （延）	決算額		経営状況	
			事業収益	事業費用	当年度純利益 （損失）	当年度未処理 欠損金
循環器・呼吸器病センター	人 40,427	人 37,700	千円 3,219,897	千円 3,350,191	千円 174,202	千円 6,336,100
精神医療センター	114,600	37,248	2,755,780	2,628,281	113,592	426,044
がんセンター	117,786	82,217	7,440,717	7,488,404	136,561	9,508,946
こども病院	28,864	23,339	3,410,529	3,698,111	287,706	399,108
計	301,677	180,504	16,826,923	17,164,987	484,877	16,670,198

（注）1 金額は、千円未満を切り捨てている。

2 決算額の金額は消費税を含むが、経営状況の金額は消費税を除いた経理処理に基づく額である。

3 県立病院課の費用等は、各病院に配分している。